

# 年報

令和2年度



千葉県立  
現代産業科学館  
CHIBA MUSEUM OF SCIENCE AND INDUSTRY

# 目 次

## I 館概要

1 設置目的（専門性・テーマ等）	1	3 調査研究事業	
2 沿革	2	(1) 調査研究活動	14
3 千葉県立現代産業科学館の使命	3	(2) 収集保存活動	15
4 運営の基本方針	3	4 展示・普及事業等	
5 施設概要		(1) 事業実施状況	16
(1) 1階平面図	4	ア 科学館わくわく教室	22
(2) 2階平面図	4	イ クラシックカー・スポーツカー in 科学館	23
(3) 地下1階平面図	4	ウ 出張講座	23
(4) 各室面積表	5	エ 団体工作教室	23
(5) 建築等の概要	6	5 情報提供活動	
(6) 総工費	6	(1) 図書資料等の収集・提供	23
(7) 工事関係者	6	(2) レファレンス活動	23
6 管理運営		(3) ホームページ	24
(1) 組織及び分掌	6	(4) 広報活動	24
(2) 職員及び職員構成	7	6 連携・協力事業	
(3) 職員の配置状況	7	(1) 展示・運営協力会	24

## II 令和2年度事業報告

1 利用状況	8	(2) 「授業に役立つ県立博物館」 プロジェクト	26
2 展示事業		(3) ボランティア	26
(1) 常設展示		(4) 地域連携等事業	
ア 展示	9	ア 教育機関・学校等との連携事業	27
イ 演示実験	10	イ NPO法人との連携事業	28
(2) 企画展示		ウ 地域企業等との連携事業	29
企画展「プラネタリウム上映会」	11	エ 諸機関との連携事業	29
(3) 企画展示		オ 学校支援事業	29
企画展「カ・ラ・ク・る ―歯車が 伝える動き―」	11	7 その他	
(4) エントランスホールミニ展示	12	(1) エントランス正月飾り 「萬祝式大漁旗」	31
(5) 特設コーナー	12	(2) サイエンスドームの利用状況	31
(6) ワークショップ	13	III 資料	
(7) サイエンスドームギャラリー	13	入館状況	32

## III 資料

入館状況	32
団体内訳	33
区分内訳	33

# I 館概要

## 1 設置目的(専門性・テーマ等)

科学の目覚ましい進歩に伴って産業は著しく発展し、私たちの生活は大きく向上してきた。

これらの産業を支える科学技術はますます重要となり、人間社会に対する直接的な影響を強める一方、その理解は複雑で難しいものとなっている。

そこで、千葉県立現代産業科学館は、子どもから大人までだれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことができる場を提供することを目的として設置された。

## 2 沿 革

年 月 日	事 項
昭和 56 (1981) 年	千葉県第 2 次新総合 5 カ年計画に「千葉県立現代産業科学館（仮称）の設置」が盛り込まれる。
昭和 63 (1988) 年	市川市から県へ建築用地が寄付される。
平成元 (1989) 年	設置準備委員会での検討を経て基本構想を策定する。展示の設計協議を行い、展示基本計画を策定する。
平成 2 (1990) 年	展示基本設計を作成する。 建築基本・実施設計を作成する。
平成 3 (1991) 年	展示実施設計を作成する。 杭打工事，建築本体工事に着工する。
平成 4 (1992) 年	展示工事に着工する。
平成 5 (1993) 年 6 月 30 日	外構工事に着工する。 建築工事が竣工する。
平成 6 (1994) 年 1 月 31 日 4 月 1 日 6 月 15 日	展示工事が竣工する。 機関設置される。 開館する。初代館長青木國夫就任
平成 8 (1996) 年 3 月 2 日	入館者 50 万人
平成 9 (1997) 年 4 月 1 日 8 月 28 日	2 代目館長岡田厚正就任 入館者 100 万人
平成 11 (1999) 年 3 月 25 日	入館者 150 万人
平成 12 (2000) 年 4 月 1 日 8 月 15 日	3 代目館長檜垣義明就任 入館者 200 万人
平成 14 (2002) 年 2 月 11 日 4 月 1 日	入館者 250 万人 4 代目館長須田繁就任
平成 15 (2003) 年 4 月 1 日 7 月 13 日	5 代目館長鈴木道之助就任 入館者 300 万人
平成 16 (2004) 年 4 月 1 日	6 代目館長山田秀一就任
平成 17 (2005) 年 10 月 28 日	入館者 350 万人
平成 18 (2006) 年 4 月 1 日	7 代目館長佐久間文孝就任
平成 20 (2008) 年 8 月 26 日	入館者 400 万人
平成 21 (2009) 年 4 月 1 日	8 代目館長府川雅司就任
平成 22 (2010) 年 4 月 1 日	9 代目館長石井暁就任
平成 25 (2013) 年 4 月 1 日	10 代目館長鈴木清史就任
平成 26 (2014) 年 4 月 1 日 8 月 26 日	11 代目館長小野祐司就任 入館者 500 万人
平成 28 (2016) 年 4 月 1 日	12 代目館長平賀洋一就任
平成 30 (2018) 年 4 月 1 日	13 代目館長上田敏彦就任
平成 31 (2019) 年 4 月 1 日	14 代目館長矢島義文就任
令和 2 (2020) 年 4 月 1 日	15 代目館長永島謙就任

### 3 千葉県立現代産業科学館の使命

千葉県立現代産業科学館は、科学技術の調和ある発展と、人類社会の未来の可能性を信じて様々な活動を展開し、幅広い県民の集う博物館を目指します。

- (1) 鉄鋼、石油、電力など本県工業の基幹をなす産業と、先端技術産業等に応用された科学技術について、博物館の視点で調査・研究するとともに、適正な評価基準により資料を収集・保存・展示し、次の世代に託します。
- (2) 工場プラントなど大型の設備や建造物について、画像などによる記録保存に努めるとともに、工業歴史資料調査を継続して実施し、本県の産業に関わる歴史的資料の保存に留意しながら、その情報を県民と共有し必要に応じて県内外に発信します。
- (3) 私たちは工業製品に囲まれていながら、その基本となる科学技術について十分理解しているとはいえません。子どもから大人まで体験できる展示・演示実験・各種教育普及事業等を通じて、科学技術や文化に親しむ場を目指します。
- (4) 県立博物館として高い専門性と幅広い活動を維持し、地域の各種団体との親和に留意するとともに、産業界、学校教育、NPO 法人等組織との連携を密にして県民のニーズに応えます。

### 4 運営の基本方針

#### (1) 展示活動

##### ア 展示活動

展示解説やミニイベント等、人と人の対話を重視した積極的な展示室の運営と、時代の変化に即した展示更新や組み替えを行う。

##### イ イベント活動

展示をよりわかりやすく興味深いものとするため、テーマを決めて解説するイベントを実施する。常設展示では扱うことの困難な最新の産業技術や科学技術についても、県民に親しみやすく魅力のあるイベントとして実施する。

#### (2) 調査研究活動

##### ア 調査研究活動

展示活動や教育普及活動に生かすため、産業に応用された科学技術や科学技術と人間とのかかわりに関する調査研究を行う。

##### イ 収集・保存活動

博物館活動の推進及び県民の多様な要望に的確に対応できるよう、博物館資料を整理・保存し、維持管理する。

#### (3) 教育普及活動

##### ア 教育普及活動

主として館の施設を用い、参加対象者に応じた科学技術や産業技術に関する教育活動を企画・運営する。

##### イ 館外普及活動

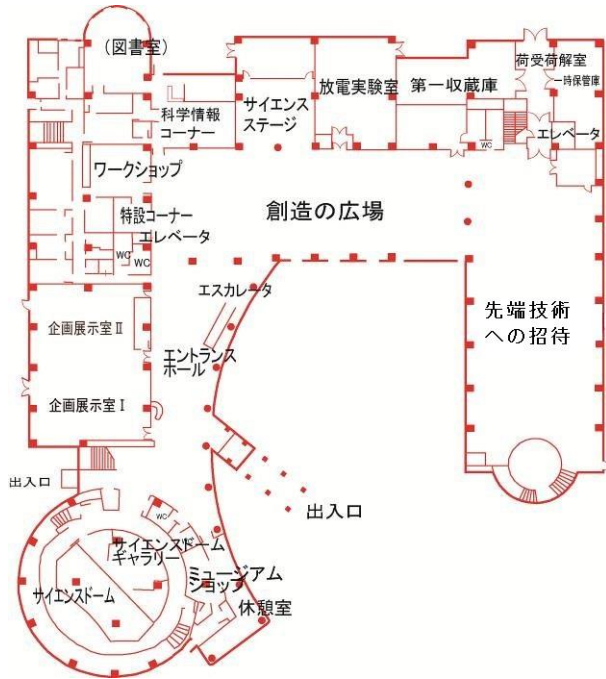
館の活動基盤を広げるため、関係機関との情報交換や人的交流を行うとともに、県民の科学教育活動への支援及び広報活動を行う。

#### (4) 情報提供活動

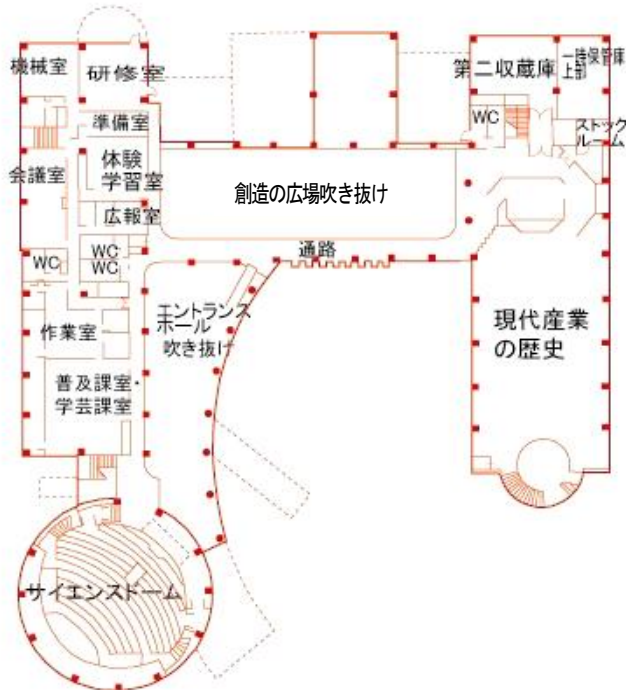
科学技術や産業技術に関する情報の発信源として、初歩的な要求から専門的な要求にまで対応できるよう、情報の収集・整理・提供を行う。

## 5 施設概要

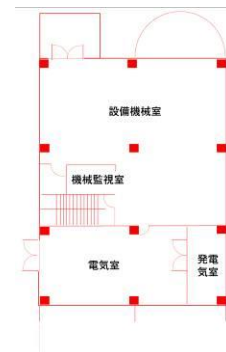
### (1) 1階平面図



### (2) 2階平面図



### (3) 地下1階平面図



(4) 各室面積表

	展示			管理事務		
	名 称	面積(m <sup>2</sup> )		名 称	面積(m <sup>2</sup> )	
展示	現代産業の歴史	1,223.06	管理事務	館長室	22.22	
	創造の広場	1,374.72		副館長室	23.79	
	先端技術への招待	930.64		応接室	25.04	
	企画展示室Ⅰ	191.32		庶務課室	57.59	
	企画展示室Ⅱ	239.90		会議室	93.08	
	特設コーナー	29.40		印刷室	13.99	
	小 計	3,989.04		機械監視室	15.00	
				職員用トイレ	40.52	
教育普及	研修室	90.97	書庫(資料室)	11.79		
	ワークショップ	91.66	小 計	303.02		
	体験学習室	123.67	研究	普及課室・学芸課室	173.70	
	広報室	26.48		作業室	77.73	
	科学情報コーナー	321.34		資料室	13.30	
	内 訳	図書室		106.06	原材料室	12.25
		書庫		36.12	暗室	10.92
		情報提供室		106.44	小 計	287.90
		撮影スタジオ	23.60	サイエンスドーム	サイエンスドーム	452.98
		AV機械室	9.73		ドームギャラリー	64.40
	アナウンスブース	4.72	予備室		18.79	
	情報制作室	34.67	事務室		17.29	
	小 計	654.12	コントロールブース		22.72	
		小 計	576.18			
収 蔵	収蔵庫(1)	141.29	設備・その他	機械室	526.22	
	収蔵庫(2)	121.22		救護室	11.48	
	荷受・荷解室	50.85		更衣室(1)	9.49	
	一時保管庫	97.60		更衣室(2)	9.34	
	EV前室	14.70		警備員室	14.40	
	小 計	425.66		管理員室	14.42	
サ ー ビ ス	エントランスホール	459.30	宿泊室	13.57		
	休憩室	89.96	浴室	9.66		
	ミュージアムショップ	37.45	給湯室(1)(2)	8.47		
	倉庫	5.86	トイレ	140.56		
	トイレ	3.45	その他共用部分	878.38		
	予備室	17.40	小 計	1,635.99		
	ロッカールーム	7.28				
	小 計	620.70				

(5) 建築等の概要

建物名称	千葉県立現代産業科学館
所在地	千葉縣市川市鬼高1丁目1番3号
地域地区	商業区域・防火地域
用途	博物館
敷地面積	18,181.85 m <sup>2</sup>
建築面積	5,150.14 m <sup>2</sup>

(6) 総工費

7,876,674 千円

(7) 工事関係者

ア 設計

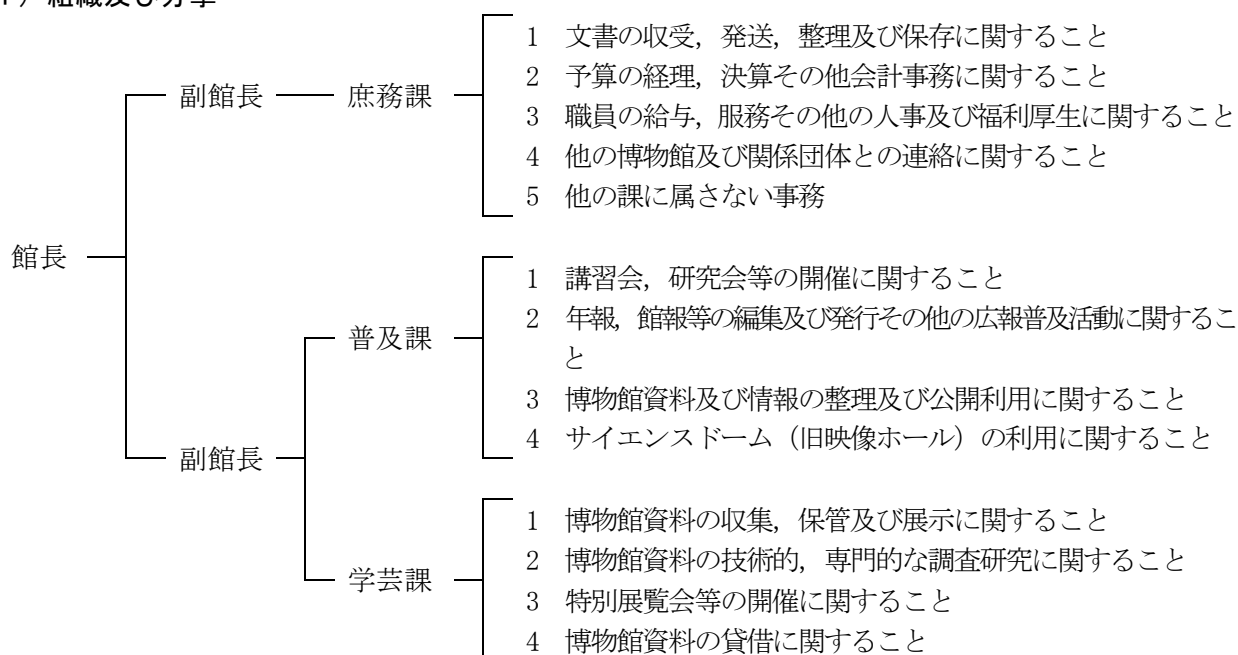
建築・設備 (株)石本建築事務所  
 外構・植栽 (株)石本建築事務所  
 展示 (株)トータルメディア開発研究所

イ 施工

建築 竹中・大城特定建設工事共同企業体  
 電気設備 川鉄電設・興電社特定建設工事共同企業体  
 空気調和設備工事 一工・セントラル特定建設工事共同企業体  
 給排水衛生設備工事 第一工業(株)  
 ガス設備工事 京葉瓦斯(株)  
 外構土木工事 (株)竹中工務店  
 外構植栽工事 岡本植木(株)  
 展示工事 (株)トータルメディア開発研究所

6 管理運営

(1) 組織及び分掌





(2) 職員及び職員構成

館長 永島 謙  
副館長 伊吹 満枝  
副館長 山田 貴久

【庶務課】

庶務課長事務取扱 伊吹 満枝  
副主査 林田 嗣朗  
副主査 伊藤 洋介  
主事 吉田 沙織  
主事 櫻井亜佑美  
主事 荒生 玲海  
主事(臨任) 櫻井 一浩  
(R2.4.14~)

会計年度任用職員 徳永由加子  
会計年度任用職員 藤崎 郁子

【普及課】

普及課長 植野 百代  
主任上席研究員 村田 憲一  
副主幹 長谷川浩士  
主任上席研究員 村川 剛啓  
主任上席研究員 永沼 律朗  
上席研究員 堀井 康弘  
上席研究員 佐々木 誠  
上席研究員 神野 智尚  
上席研究員 青柳 裕之

主任技術員 片山 元  
大川 弘一  
生賀 康則  
小島 邦夫  
川添 茂  
齊藤 敏明

【学芸課】

学芸課長 森 恭一  
主任上席研究員 佐俣 憲範  
主任上席研究員 荒井喜代美  
主任上席研究員 竹内 洋子  
主任上席研究員 堀内 裕子  
主任上席研究員 今泉 潔  
主任上席研究員 谷鹿 栄一  
上席研究員 太田 貴之  
上席研究員 金田 幸代  
上席研究員 倉内 郁子  
研究員 屋代 卓  
会計年度任用職員 山口はるか

展示解説員 梅原 妙子  
平沼 由佳  
大久保雅之  
(R2.5.1~10.31)  
宮嶋 祐子  
(R3.2.1~)

(3) 職員の配置状況

区分	行政職	研究職	小計	会計年度任用職員					合計
				管理等業務	使用料徴収業務	各業務補助	展示解説員	主任技術員	
人数(人)	10	19	29	1	1	1	3	6	41

## Ⅱ 令和2年度事業報告

### 1 利用状況

令和2年4月～令和3年3月

	累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数	175	0	0	25	26	11	25	27	25	24	4	0	8
入場者	17,057	0	0	2,198	2,916	1,387	2,696	2,350	2,508	1,863	213	0	926
有料入場者	2,822	0	0	196	369	306	550	352	442	415	22	0	170
無料入場者	14,235	0	0	2,002	2,547	1,081	2,146	1,998	2,066	1,448	191	0	756
計	17,057	0	0	2,198	2,916	1,387	2,696	2,350	2,508	1,863	213	0	926
個人	2,822	0	0	196	369	306	550	352	442	415	22	0	170
一般・成人	2,665	0	0	189	342	297	528	334	411	385	20	0	159
高・大学生	157	0	0	7	27	9	22	18	31	30	2	0	11
計	14,235	0	0	2,002	2,547	1,081	2,146	1,998	2,066	1,448	191	0	756
無料	11,288	0	0	1,810	2,191	778	1,651	1,619	1,477	1,127	140	0	495
高・大学生	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
中学生以下	2,946	0	0	192	356	302	495	379	589	321	51	0	261
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般・成人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国人数(内数)	13	0	0	0	0	7	0	0	0	6	0	0	0
入場料収入額	827,150	0	0	57,750	106,650	90,450	161,700	102,900	127,950	122,400	6,300	0	51,050

## 2 展示事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月4日から5月31日まで、及び令和3年1月9日から3月21日まで全館臨時休館となった。また、施設設備の改修のため、令和2年7月30日から8月18日まで全館臨時休館となった。この影響により、中止や計画変更となる事業が相次いだ。そこで、本報ではこれらの影響によって例年と異なる対応をとった箇所を下線で強調することとした。

### (1) 常設展示

#### ア 展示

##### (ア) エントランスホール

チケットカウンターを境に無料と有料のゾーンに分かれる。無料ゾーンでは、「伝えたい千葉の産業技術100選」をはじめ、各種のパネル展示を行っている。有料ゾーンでは、当館のシンボルであるタービンローターを展示しているほか、県立高校、県内企業や機関等との連携事業の展示を行っている。エスカレーター下のスペースは、従来は実験工作教室の会場や休憩コーナーとして使用していたが、今年度は主に展示スペースとして利用している。

##### (イ) 現代産業の歴史

千葉県の基幹産業である鉄鋼・石油・電力産業の発展の歴史と現代の技術に関する展示を通して、科学技術と人との関わりについて紹介している。本県における鉄鋼業の記念碑的存在の『川崎製鉄千葉1号高炉』模型、『1913年型T型フォード』実物、世界初の電車である『ジーメンスの電車』実物大模型等の展示物がある。

##### (ウ) 先端技術への招待

さまざまな分野で応用されている技術やそれらが私たちの生活や産業社会をどのように変化させていったのかを紹介している。展示は主に、レーザー加工機や液体窒素製造装置等の「先端技術を支える技術」、光ファイバーやスーパーカミオカンデ・イベントディスプレイ等の「エレクトロニクス」、セラミックスや機能性高分子等の「新素材」、DNA二重らせん構造模型やiPS細胞等の「バイオテクノロジー・バイオミメティクス」、太陽光発電やデジタル地球儀等の「先端技術と地球環境」の5分野で構成されている。さらに、実験シアターや実験カウンター、パソコン体験コーナーなどがある。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から11月まで展示場を閉鎖していた。12月2日から開かれたが、感染拡大防止のため体験展示等を使用中止とし、展示エリアの一部を入室禁止とした。

##### (エ) 創造の広場

参加・体験型の展示によって、身近な科学現象の不思議さや美しさを体験できる広場であり、「ウォーターロケット」や「ガリバーのシャボン玉」等の操作ができる展示物が多数設置されている。また、雷放電を実演する「放電実験室」や、世界を変えた発明・発見について人形劇や科学実験で紹介している「サイエンスステージ」も併設されている。このほか広場内に展示されているNゲージジオラマ模型には、千葉県にゆかりのある車両模型を適宜導入し、期間ごとに車両を変更し走行させている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月26日から引き続き閉鎖していたが、11月11日よりサイエンスステージのみを再開し、12月2日からは一部の使用を制限して創造の広場を再開した。使用を制限した装置は「3Dワールド」・「立体アニメーション」・「オートフォーカスカメラ」・「テクノボックス」・「古銅魚洗」・「人力発電」・「無限の部屋」・「光のトンネル」・「バブルラビリンス」・「スウィングクロック」・「ピンホールカメラ」・「ガリバーのシャボン玉」・「スピーキングパラボラ」・「Nゲージ（鉄道模型）」である。

#### (オ) 科学情報コーナー

宇宙関連事業を紹介する「宇宙コーナー」と、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の研究開発と業務の内容を紹介する「時空コーナー」を設置している。

時空コーナーでは、NICTから借用した「ルビジウム原子時計」等を展示し、映像資料「時空標準 究極の時計を目指して」と解説パネルで正確な時間の作り方について紹介している。また「NICT NEWS」として、NICTの最新の取り組みをパネルにして紹介している。

宇宙コーナーでは国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と一般財団法人日本宇宙フォーラムとの共同事業である科学館/文化施設向け情報提供事業『Space i』から提供される資料を中心に展示している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館及び部分開館としたため、科学情報コーナーは入場不可とした。

### イ 演示実験

#### (ア) 実験シアター

高度で専門的な先端技術を支えている極限環境の世界に触れることを目的として、液体窒素を使用した実験を行った。座席数は21で最大40人程度である。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実験シアターを会場とした演示実験は感染リスクが高いと判断し中止とした。会場をサイエンスステージに移し、11月11日より演示実験を再開した。実験名を「冷凍実験と超電導実験」とし、内容はこれまでと同様に、超低温(約-196℃)での物質の凍結、気体の液化・固化、超電導現象実験とした。実施回数や参加者数は下記(エ)サイエンスステージに記載する。

#### (イ) 実験カウンター

身近な物理現象や様々な素材がもつ性質について説明するために、目の前で実験を実施することや、参加者が実験し体験することを目的としている。座席数は6で、最大20人程度までである。実験のプログラムは、光と色のふしぎ、圧気発火実験、スターリングエンジン等の21種類が用意されている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実験カウンターの演示実験はすべて中止した。会場の形態から対策は難しく、当面は中止にせざるを得ない。

#### (ウ) 放電実験

雷の性質と電力産業の送電系における避雷について、実験を交えて紹介している。実験の内容は、高電圧発生装置により、円弧の形をした炎のような放電現象が起こる「アーク放電実験」、ガラス表面に網の目状の放電が起こる「沿面放電実験」、送電鉄塔の模型や送電鉄塔の「ガイシ」の実物に落雷させる「雷放電実験」がある。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度も放電実験は引き続き中止となった。

#### (エ) サイエンスステージ

産業の基礎となった科学技術を楽しくわかりやすく紹介する劇場仕立てのステージである。演目には実験を交えた「人形劇」と「楽しい科学実験」がある。『キュリー夫人と放射線』の人形劇や『風に浮かぶボール』等の科学実験を実施している。また、不定期であるが展示・運営協力会の外部講師による「サイエンスショー」を年間5回程度行っている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月26日から引き続き実験は中止となっていたが、11月11日より規模を縮小して再開した。再開にあたっては、実験の内容は、各日2回、実験内容は2回とも同一とした。客席は最前列を使用しないこととし、残りの座席についても着席範囲を1/2に制限して各1グループでの使用とした。なお演目については従来のサイエンスステージの演

目に加え、実験シアターで行っていた「冷凍実験と超電導実験」も加えた。

また、人形劇については、各日2回・同一内容で令和3年3月23日から再開した。演示実験実施期間中の実施回数は「楽しい科学実験」が79回、参加者数は865人、「人形劇」は4回、参加者数は76人であった。

また、イギリスの科学者ファラデーが1860年から1861年にかけてのクリスマス休暇に王立研究所で行ったクリスマスレクチャーにちなみ、冬の時期に毎年実施している「クリスマス実験講座」については、12月13日(日)に「手をつないだりはなしたり ～鉄と酸素の不思議」と題し、当館職員による、ものの燃焼や鉄の酸化・還元に関する実験を行った。計2回実施し、合計46人の参加者があった。

## (2) 企画展示

### 企画展「プラネタリウム上映会」

下記の期間上映会を計画したが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月24日に中止が決定した。

**ア 開催期間：**令和2年8月7日(金)～8月26日(水)(開催日数18日間)

**イ 場 所：**サイエンスドーム

**ウ 鑑賞者数：**0人

**エ 趣 旨：**サイエンスドームにおいて、FUSIONシステムを導入し、大規模で高精細な星空を再現し、その素晴らしさを実感してもらうために、プラネタリウム上映会及び上映解説会を開催する。光学式プラネタリウム投影機と4Kプロジェクター17台を駆使した新たな技術 MEGASTAR-FUSION システムによって高精細な星空とデジタル映像を融合した映像を映し出し、その臨場感を体感してもらい、県民・観客を魅了する。

**オ 構 成：**企画展として、大平貴之氏が開発した光学式プラネタリウム投影機と4Kプロジェクター17台を駆使した技術 MEGASTAR-FUSION システムによるプラネタリウム上映会の開催、また大平氏による上映解説会を2日間(1日2回)を計画した。

## (3) 企画展示

### 企画展「カ・ラ・ク・る—歯車が伝える動き—」

下記の展覧会を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月18日に中止が決定した。

**ア 開催期間：**令和2年10月16日(土)～12月6日(日)(開催日数44日間)

**イ 場 所：**企画展示室、エントランス、ドームギャラリーほか館内展示施設

**ウ 入場者数：**0人

**エ 趣 旨：**身の回りにあるさまざまな機械の見えないところで活躍している「歯車」などの動きを伝えるしくみを紹介する。複雑な動きを実現する機構模型やからくりおもちゃを実際に動かし、その不思議な動きを体験することで『力がどのように伝わり、どのように動くか』を楽しみながらより理解する機会とし、暮らしに根ざした歯車機構を紹介し、さらに歯車を用いた「からくりアート」の作品を展示し、モノづくりの一辺にふれる。

### オ 展示内容・構成

歯車などの機構の説明・暮らしの中で使われていた歯車機構をもつ道具類の紹介・歯車機構を駆使した「からくりアート」「からくりおもちゃ」の紹介、の3単元で構成する。

### カ 関連展示

特設コーナーやドームギャラリーで、「歯車の種類」「歯車博士」等について紹介する。

## キ 関連行事

からくり人形を動かす、歯車アート作品を動かすなど、展示作品を実際に動かすイベントやからくり工作教室、講演会などを会期中の土曜日・日曜日に集中して実施する。

### (4) エントランスホールミニ展示

#### ア 「伝えたい千葉の産業技術100選」

(ア)開催期間：令和2年6月2日（水）～令和3年3月13日（土）

(イ)展示内容：平成27年度より本館では、歴史的産業技術を次世代へ継承することを目的として、本県発展のターニングポイントとなった産業技術や県内各地域の歴史的経緯・役割がわかる資料を調査し選定している。県内の科学技術に関する興味・関心を高め、地域の産業に関する理解に結び付けることを目的として、これまでに選定した資料を展示した。

#### イ 拉致問題啓発パネル展

(ア)開催期間：令和2年8月19日（水）～8月28日（金）

(イ)展示内容：千葉県では北朝鮮による日本人拉致問題に関して、県民の関心と認識を深める取り組みを行っている。その一環として当館を会場に、拉致問題の概要、歴史、解決を求める運動の状況などを分かりやすく解説したパネルと映像を展示した。

#### ウ 北方領土問題啓発パネル展

(ア)開催期間：令和2年8月29日（土）～9月4日（金）

(イ)展示内容：千葉県では毎年8月と2月の北方領土返還運動全国強調月間に合わせ、北方領土問題に対する県民の関心と理解を深め、北方領土返還要求運動の推進を図る取り組みを行っている。その一環として当館を会場に、北方領土の概要、歴史、自然、返還運動の経緯などを分かりやすく解説したパネルを展示した。

#### エ 「記念物100年」展

(ア)開催期間：令和2年11月14日（土）～11月29日（日）

(イ)展示内容：昨年は記念物保護制度が施行されて100周年にあたり、これを機に多くの人に記念物に対する理解と関心を深めることを目的に文化庁が企画・制作したパネルを昨年度に続き今年度も展示した。

#### オ 小惑星探査機「はやぶさ2」が帰ってくる

(ア)開催期間：令和2年10月3日（土）～12月27日（日）

(イ)展示内容：宇宙関連事業を紹介する「宇宙コーナー」がある科学情報コーナーが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場不可としたが、令和2年度は、野口聡一宇宙飛行士のISS長期滞在や、小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還など宇宙関連の大きな話題があったため、エントランスホールミニ展示として展示した。資料は郵送や配信メールによるダウンロードにて受け取り、解説パネルを随時更新した。野口宇宙飛行士に関する展示では、長期滞在しているISSの模型や、福井県立若狭高等学校が作ったサバ醤油味付け缶詰、赤飯、白飯の実物展示も行った。

### (5) 特設コーナー

#### ア 「千葉の匠展」株式会社斎藤製作所～模型エンジン製作～

(ア)開催期間：令和2年6月2日（火）～12月6日（日）

(イ)入場者数：14,575人

(ウ)趣旨：株式会社斎藤製作所は、市川市稲荷木に本社を置く、昭和24(1949)年創業の模型エンジン専門メーカーである。「実機らしさの追及」に拘った4サイクルエンジンを作り続け、本物に近いエンジン音とパワーで、世界中

のファンの支持を集めている。また、スチームエンジン（主に模型船舶用）も創業以来製作しており、昭和 50(1975)年に中小企業庁による輸出優秀商品証書を受賞するなど、国内外で高く評価されている。

本展示では、同社のエンジン実物や完成までの各工程についての展示を通し、高い技術力で高精度な模型エンジンを作り続ける、株式会社斎藤製作所の製造技術について紹介した。

- (エ) 展示内容：会社概要（パネル）  
エンジン完成までの各工程（パネル）  
エンジン部品加工途中サンプル  
模型飛行機用 4 サイクルエンジン  
模型飛行機用 4 サイクルエンジンカットモデル  
模型船舶用スチームエンジン  
4 サイクルエンジン搭載模型飛行機  
スチームエンジン搭載模型船舶  
蒸気発電プラント模型  
スチームエンジンデモ用水槽  
ビデオ映像

(オ) 展示協力：株式会社斎藤製作所

#### イ 「とびだせ宇宙情報コーナー」

(ア) 開催期間：令和 3 年 1 月 9 日（土）～3 月 31 日（水）

（次年度も継続して開催）

(イ) 趣 旨：宇宙に関する最新情報を紹介する。

(ウ) 展示内容：小惑星探査機「はやぶさ 2」紹介パネル

野口宇宙飛行士紹介パネル

ISS 模型

宇宙食実物（サバ醤油味付け缶詰，赤飯，白飯）

「野口宇宙飛行士の宇宙日本食紹介」映像

(エ) 入場者数：330 人

### (6) ワークショップ

#### ア 「パイロット体験 フライトシミュレーター」

(ア) 開催期間：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(イ) 体験者数：0 人

(ウ) 趣 旨：平成 25 年度の特別展に際して、全国科学系博物館活動等助成金の交付を受けて作成した「フライトシミュレーター」を活用し、体験者にパイロット（プロペラ機・ジェット機）の疑似体験をとおして、大空への夢を膨らませることを目的とする。

(エ) 展示内容：学生ボランティアの活動を充実させるため、体験指導者としての実地研修を実施した。

### (7) サイエンスドームギャラリー

#### ア 運用の方針

サイエンスドームギャラリーでは、限定された狭い空間で実施可能なミニ展示を行う。内容は、館設立の趣旨に沿った企画での借用資料や本館収蔵資料等の紹介、企画展・特別展の事前・開催中での関連資料を紹介する。

## イ 施設について

ここは旧映像ホールの映写室であり、通路沿い壁面が強化ガラスで構成された64.4㎡の部屋である。したがって、ショーウィンドウのような展示空間（入室できないガラス張りの空間）での資料に合わせた展示方法をそれぞれの企画で考え実施している。ガラス面は1枚の高さ約2,430mm×幅約2,320mmが5枚連なるもので円筒側面の1/7程度の大きさであり、そのうちの1枚が搬出入用に観音開きのガラス製ドアである。ギャラリー内部は簡易展示パネルで展示部分（ガラス面側）とバックヤードとに仕切り、展示に合わせてスペースの増減を行っている。なお、天井に展示照明用ライティングダクトが5本（2回路）整備してある。

## ウ 令和2年度実施内容

企画展開連展示や、本館収蔵資料等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館のため、いずれも中止となった。

「スーパーコンピュータ『京』がやってきた!」については、新型コロナウイルス感染症拡大等による閉館により公開が延期されていたが、8月19日の再開館に合わせて公開を開始した。

### (ア) 「スーパーコンピュータ『京』がやってきた!」

a開催期間：令和2年8月19日（水）～令和3年3月31日（水）

（次年度も継続して開催）

b入場者数：11,943人

c趣 旨：理化学研究所より寄贈されたスーパーコンピュータ「京」の筐体や部品を展示し、スーパーコンピュータ「京」について紹介する。2012年に完成・供用開始し、2019年に役目を終えた「京」は、世界1位の性能を記録するなど数多くの分野で役立てられてきた。その性能や成果をパネルと映像で紹介し、スーパーコンピュータとはどのようなものなのか、シミュレーションとは何かを知ってもらう機会とする。

d展示内容：令和元年度に寄贈により収蔵したスーパーコンピュータ「京」の本体1ラック一式、本体より取り外したシステムボード1点他、解説パネル及び説明映像を展示した。

### (イ) 博物館実習生による展示

令和2年度は、博物館実習の課題としての展示は実施しなかった。

## 3 調査研究事業

### (1) 調査研究活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画展は中止となったが、緊急事態宣言後の開館に向け、様々な感染防止対策を実施した。そのため、今回は学芸課・普及課とそれぞれの立場から館として実施した感染防止対策をまとめ、今後も起こりうる感染症等への記録とした。

#### 【個別研究】

#### ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る学芸課の対応について

屋代 卓

当館では新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で臨時休館や部分開館等の対応をはじめ、展示会の中止や演示実験の中止を余儀なくされた。当館は体験を通して学ぶことを主としている科学館であり、常設展示場にはハンズオン展示が多いため、感染症拡大防止策（以下、感染対策）は必須であった。展示場や展示物を管理する学芸課としてどのような感染対策を実施してきたのか、これまでの対応をまとめ報告する。新しい生活様式や with コロナの生活の中での科学館として、今後の展示に活かしていきたい。



## イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る普及課の対応について

神野 智尚

当館では、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止となるイベントが多数あった。そのような状況下でも、様々な対策を講じて教育普及事業に取り組んできた。普及課での対応を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からまとめておくことが次代への教訓として研究に値すると考えた。そのため、新型コロナウイルス感染症拡大防止について取り組み、工夫してきたことについて報告する。特に、科学に対する興味関心が高まったり、当館に魅力を感じたりする取組を考えることで、今後の来館者数の増加や来館の満足度向上を目指してきた。その取組のひとつとしてホームページ上で発信してきた「おうち」シリーズについてまとめていく。

## ウ 主体的な学びへと繋げる補助的な実験器具の在り方

小島 邦夫

千葉県立現代産業科学館は、産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことを目的とした場を提供している。そのなかで様々な演示実験が行われている。それらを通して子供たちが現代科学・技術に触れ、科学や産業に興味・関心を持ち、当館での経験が、将来にわたり主体的に学び続けることができる力を身に付けるきっかけになることを願って本主題を設定した。

## (2) 収集保存活動

令和2年度に収集した資料は、寄附等資料5点である。

### ア 寄附資料

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| (ア) 真鍮製ドラム型顕微鏡               | 1点 (個人) |
| (イ) 初期型12インチテレビ TV62 ブッシュラジオ | 1点 (個人) |
| (ウ) 真空管ラジオ フィルコ 444          | 1点 (個人) |
| (エ) 自動式卓上電話機 GPO No.150      | 1点 (個人) |

### イ その他受入れ資料

- |                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| (ア) ポータブルタイプライター バリエント JP1-121 ブラザー工業 | 1点 |
|---------------------------------------|----|

## ウ 資料収集状況 (令和3年3月31日現在)

	購入	寄贈	受託	借用
	総点数	総点数	総点数	総点数
産業技術資料	91	1,786	5	20
合計	91	1,786	5	20

	採集	保管換	合計
	総点数	総点数	総点数
産業技術資料	0	695	2,597
合計	0	695	2,597

## 4 展示・普及事業等

(1) 事業実施状況 ※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止となった事業

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等
展示	展示会	主催	1	常設展示	①現代産業の歴史	6,880	175	開館日(175日) 臨時休館日(131日) (4/1-5/31, 7/31- 8/18, 1/9-3/21)
					②先端技術への招待			
					③創造の広場			
			2	※企画展プラネタリウム上映会	最新の投影機器による星空の映写会	-	-	-
			3	※プラネタリウム解説会	大平貴之氏による生解説	-	-	-
			4	※企画展	企画展「力を伝える“しくみ”-江戸のからくりから未来のロボットまで-」(仮称)	-	-	-
			5	トピックス展示	協力会以外の特設コーナー展示・エントランスコーナー展示(ワークショップ展示)	10,647 (延べ)	243 (延べ)	6/2-12/6, 10/3-12/2 1/5-1/8 3/23-3/31
		6	サイエンスドームギャラリー展示	収蔵資料・写真を中心とした展示-特別展等の紹介となる展示, 数年継続するシリーズ展示等	11,943	125	8/19-12/27 1/5-1/8 3/23-3/31	
		7	発明くふう展	発明くふう展の入賞作品を展示する	1,813	18	10/29-11/18	
		連携	8	市川市児童生徒科学展	市川市内小・中学生が夏休みに制作した科学作品の展示	41	1	9/11(審査会のみ実施)
			9	五市合同技術・家庭科作品展	葛南教育事務所管内(船橋, 市川, 習志野, 八千代, 浦安市)技術・家庭科作品の展示	-	-	1/13(審査会のみ実施)
10	※展示・運営協力会連携事業		①展示会「これでわかった!未来の技術2020」	-	-	-		
11			②展示・運営協力会特設コーナー展示会	-	-	-		

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等	
展示	展示会	連携	12	県立市川工業高等学校インテリアデザイン部連携事業	クリスマス装飾・作品展	953	12	12/19-12/27 1/5-1/8	
			13	※県立市川工業高等学校インテリア科連携事業	卒業制作展	—	—	—	
			14	※少年少女発明クラブ作品展	県内7か所に設置されている少年少女発明クラブによる作品展	—	—	—	
	展示解説	主催	15	展示解説	①科学実験（人形劇を含む）	942	46	11/11-12/27 1/5-1/8 3/23-3/31	
			16		※②放電実験	—	—	—	
			17		※③新素材実験	—	—	—	
			18		④極限環境実験	—	—	①科学実験に含む	
			19		⑤解説ツアー	33	1	10/22	
			20		※⑥解説タイム	—	—	—	
			21		※⑦ジーマンスタイム	—	—	—	
	教育普及	講座	主催	22	※出張講座	小・中学生，その指導者を対象とした館外での工作教室，講座	—	—	—
				23	クリスマス実験講座	小・中学生を対象にした科学実験等	46	1	12/13
		連携	24	県教育委員会連携事業	公立小・中学校等初任事務職員研修会	33	1	10/22	
			25	※県総合教育センター連携事業小学校理数教育実践研修	小学校の理科と算数の学習を連携できる題材を生かし，理数教育という方向からの指導内容と指導方法についての実践的な研修	—	—	—	
26			※市川市教育委員会連携事業	理科主任会	—	—	—		
		主催	27	※小・中学生団体向け工作教室	来館した小・中学生等団体対象の工作教室	—	—	—	

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等
教育普及	工作教室・乗車会・体験教室	主催	28	※ゴールデンウィーク科学館フェア2020	①工作教室 科学館 わくわく教室 お楽しみワークショップ	-	-	-
			29		②タリップ号乗車会 (雨の場合 工作教室等実施)	-	-	-
			30		③たんけん!!科学館	-	-	-
			31		④T型フォードの乗車会	-	-	-
			32	※オータム・フェアin科学館2020	①工作教室 科学館 わくわく教室 お楽しみワークショップ	-	-	-
			33		②タリップ号乗車会 (雨の場合 工作教室等実施)	-	-	-
			34		③たんけん!!科学館	-	-	-
			35	※クリスマスin科学館2020	①工作教室 科学館 わくわく教室 お楽しみワークショップ	-	-	-
			36	※スプリングin科学館2021	①工作教室 科学館 わくわく教室 お楽しみワークショップ	-	-	-
			37		②タリップ号乗車会 (雨の場合 工作教室等実施)	-	-	-
			38		③たんけん!!科学館	-	-	-
			39	※お楽しみワークショップ	親子で楽しめる工作教室	-	-	-
			40	科学館わくわく教室 (旧科学館子ども教室)	講座・工作教室	67	4	9/13, 10/11 11/15, 12/6
			41	※国際博物館の日記念事業	工作教室 (科学館わくわく教室として)	-	-	-
			42	※【企画展関連事業】工作教室	企画展関連の工作教室	-	-	-
43	※県民の日・開館記念日記念事業	①工作教室 (科学館わくわく教室として)	-	-	-			

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等
教育普及	工作教室・乗車会・体験教室	主催	44	※文化の日記念事業	工作教室	—	—	—
			45	※T型フォード乗車会	T型フォード（収蔵品）の乗車会	—	—	—
			46	※パイロット体験	フライトシミュレーターを使ったパイロット体験	—	—	—
		連携	47	※県生涯学習課連携事業 夢チャレンジ体験スクール（サイエンススクール）	工作教室	—	—	—
			48	※さわやかちば県民プラザ連携事業	さわやかちば県民プラザを会場とした工作教室	—	—	—
			49	※東邦大学連携事業 「たのしい科学のひろば」	東邦大学を会場とした工作教室	—	—	—
			50	NPO法人くらしとバイオプラザ21連携事業	①バイオカフェ	12	1	11/7
			51		②親子バイオ入門実験教室	24	1	10/4
			52		※③キッチンサイエンス	—	—	—
			53	※土器ッと古代宅配便	勾玉の製作体験	—	—	—
			54	展示・運営協力会 展示会関連事業	①実験・工作教室	31	2	11/1, 11/29
			55		※②サイエンスショー	—	—	—
			56	※木更津工業高等専門学校連携事業	木更津高専の生徒が製作したロボットの展示・操縦体験と中学生・保護者向け学校説明会	—	—	—
			57	※航空協会連携事業	こども模型飛行機教室	—	—	—
	58	※展示・運営協力会展示会関連事業	講演会	—	—	—		
コンサート	主催	59	クリスマスコンサート	マンドリン・マンドラ・マンドチェロによる三重奏	33	1	12/20	

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等
教育普及	イベント	主催	60	クラシックカー・スポーツカーin科学館	歴史や世相をつくり上げてきたクラシックカーやスポーツカーを展示するイベント	—	—	WEB開催 1/5-3/31
		連携	61	※いちかわ産フェスタ	市川市内の地元産業の紹介	—	—	—
			62	※いちかわ土木まつり	子供たちへの「建設の仕事」紹介	—	—	—
	63		※研究所見学in科学館	公益財団法人かずさDNA研究所と連携しリモートで施設見学や質疑応答を行う	—	—	—	
	連携	64	※教員のための博物館の日	幅広い層の教員対象に、博物館の教育資源を知ってもらうとともに、親しみ、楽しむ機会を提供するイベント	—	—	—	
		65	※県立柏高等学校天文部連携事業	プラネタリウム上映会	—	—	—	
		66	※職場体験・インターンシップ	中学校・高等学校生徒の職場体験・インターンシップ受入	—	—	—	
	学校教育支援	主催	67	博物館実習	学芸員資格修得のための実習生受け入れ	6	5	9/2-6
			68	「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト	小・中学校等を対象とした学習キットの開発及び貸出	—	3団体	8/22-9/1, 10/14-10/21, 2/27-3/13
			69	※教職員博物館体験研修	博物館の利用促進を図る目的の教職員対象の研修	—	—	—
		連携	70	※東邦大学連携博物館教育利用実習	教員志望者に対する科学館展示概要と利用法の講義と見学	—	—	—
			71	※高等学校単位認定支援事業	学校外の学修として、高校生に対する博物館業務に関する講座	—	—	—
	72		工業系高校人材育成コンソーシアム千葉	県立学校改革推進プランに基づく工業科を設置する高等学校との連携	—	—	総会（書面開催） 生徒研究発表会 （WEB開催）	

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等
教育普及	学校教育支援	連携	73	県立船橋高等学校連携事業	音に関する研究発表, およびオーケストラ部によるスプリングコンサート	476	1	3/27
広報	広報	主催	74	刊行物の作成・配布	広報資料の刊行・館外における広報資料の配布等の活動	—	—	通年
			75	情報提供	報道機関等関係機関への情報提供・取材対応	—	—	通年
			76	メールマガジン	メールマガジンの作成・配信等	—	—	通年
			77	外部広報活動	館外における広報資料の配布等の活動	—	—	通年
			78	図書資料の収集・提供	図書資料による情報提供	—	—	通年
情報提供	情報提供	主催	79	博物館情報ネットワーク	博物館情報ネットワークによる情報提供	—	—	通年
			80	ホームページの運営	ホームページによる情報提供	—	—	通年
			81	SNS等による情報発信	SNSを活用した情報発信	—	—	通年
			82	レファレンス	利用者の科学一般・展示に関する質問への回答, 及びその内容の記録・整理・集積	—	—	通年
			83	宇宙事業	パブリックビューイング(ロケット打ち上げ), 宇宙ニュース, ISS・はやぶさ等関連展示	—	—	通年
			84	科学情報コーナー	宇宙技術など科学情報コーナーの更新(上記宇宙事業とともに再構築プロジェクトで検討)	—	—	通年
			85	常設展示に関すること	調査研究	—	—	通年
調査研究	調査研究	主催	86	次年度以降企画展に関すること	次年度以降企画展	—	—	通年

事業	種別	形態	番号	項目	内容	参加者	日数	期日等		
調査研究	調査研究	主催	87	産業技術調査	千葉県(近代)の産業(工業)・交通・土木等に関する調査・伝えたい千葉の産業技術100選	—	—	通年		
			88	調査研究に関すること	館の活動に関する総合研究・共同研究・個別研究の計画策定及び実施	—	—	通年		
			89	研究報告に関すること	研究成果のまとめ	—	—	通年		
			90	資料調査・収集活動	館の活動に関する資料の調査・収集	—	—	通年		
			91	資料の保存・管理活動	活用しやすい所蔵資料の管理システムを構築	—	—	通年		
			92	※千葉学講座	博物館専門職員による研究成果の発表と準備運営	—	—	—		
			93	千葉県博物館協会 博物館資料救済事業	災害時における博物館資料の救済活動	—	—	通年		
連携協力	ボランティア	主催	94	ボランティア	ボランティアを育成し、博物館事業に参加	67	25	随時		
			展示・運営協力会	連携	95	展示・運営協力会	①展示事業への指導・助言及び支援	—	—	理事会2回 総会(書面開催)
					96		②館の依頼による調査協力	—	—	随時
	97				③会員相互の交流活動	—	—	随時		
	友の会	販売	98	ミュージアムショップ	科学関連グッズの販売を通じ科学への興味関心を喚起(H28より友の会が運営)	—	—	随時		
			99	友の会	館事業への支援・協力(H28より再開)	—	—	随時		

## ア 科学館わくわく教室

だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことのできる場を提供することを目的とし、小・中学生の科学に関する興味・関心を高めるため、科学工作教室や、講座などの体験活動を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更して実施。



### 科学館わくわく教室 実施一覧

実施日	曜	内 容	定員	参加人数	参加費
9月13日	日	光るスライムをつくろう	18	18	200円
10月11日	日	きらきらミラーキューブをつくろう	18	15	200円
11月15日	日	LEDミニライトをつくろう	18	17	200円
12月6日	日	不思議なステンドグラスをつくろう	18	17	200円

対象：中学生以下（小学3年生以下保護者同伴）

協力：千葉県立現代産業科学館友の会

#### イ クラシックカー・スポーツカー in 科学館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更し、「クラシックカー・スポーツカー in 科学館 WEB」としてホームページ上で実施。

例年、本県の基幹産業の一つである石油産業に貢献している自動車産業や工業技術の歴史を知る機会として、クラシックカーやスポーツカーの展示を行う。

平成23年度から始まり第8回まで実施しているが、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせた。

計画概要は以下のとおりである。

(ア) 掲載日時：令和3年1月5日（火）～3月31日（水）

(イ) 主 催：千葉県立現代産業科学館

(ウ) 掲載場所：当館ホームページ上特設ページ

(エ) 内 容：クラシックカーおよびスポーツカーの掲載

42台（当館所蔵T型フォード、スバル360を含む）

#### ウ 出張講座

博物館における学習資源の有効活用と博物館事業の活性化を図るため、小・中学校等の依頼により児童・生徒又はその指導者を対象として、科学教室及び工作教室を館外で実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

#### エ 団体工作教室

博物館における学習資源の有効活用と博物館事業の活性化を図るため、小・中学校等の依頼により児童・生徒を対象として、団体見学と併せて実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

## 5 情報提供活動

### (1) 図書資料等の収集・提供

当館の図書資料は、館の趣旨に沿って自然科学、技術、工学、工業を中心とした図書及び国内の博物館、研究機関等関連施設の刊行物を収集し、これらの情報を来館者へ提供している。また、企画展等イベントの際は、関連図書の紹介を図書室で行っている。児童向けの科学本も豊富で、来館する子どもたちに読書の楽しみを提供している。

当館の図書室及び書庫あわせての蔵書収容能力は約27,000冊である。

令和3年3月末現在の蔵書数は約16,710冊であり、雑誌は約30タイトルを数える。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書室を閉鎖したことにより利用者の図書閲覧は中止。

### (2) レファレンス活動

年間を通じて随時、次のような利用者の質問への回答及び情報提供を行っている。

なお、今後、その内容の記録、整理、集積を行っていく。

- ア 常設展示及びイベントに関する情報
- イ 他の博物館及び博物館資料に関する情報
- ウ 映像，図書資料に関する情報
- エ 科学一般に関する情報

### (3) ホームページ

今年度のホームページの運営は、新型コロナウイルス感染症の影響で通常の形とは大きく変わった。

例年ならば、最新のイベントや企画展の情報などを掲載して見ていただいた皆様に来館していただけるようなホームページ制作に心がけるところだが、今年度は、昨年の春先と今年の正月後の2度の臨時休館、また開館しても入場制限を行わざるを得ないなど、皆様をお迎えする積極的な広報ができない状況が続いた。

そのため、今年度のホームページでは、館の開閉館状況やイベントの中止などをいち早くお知らせすることが重要な役割となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館，再開館，その再開館にあたっての諸注意やマスクの着用，アルコール消毒のお願いなどの掲示を頻繁に行った。そして、これらの情報を見ていただけるよう背景画像を変えたり、わかりにくいとの御意見には手直しをするなど対応した。

また、家で過ごす時間が長くなり、当館では開館しても、実験や工作、大型の体験施設での体験ができない状況となった。そこで、ホームページ上に「おうちでシリーズ」として「おうちでつくってみよう」「おうちでマジックしよう」、さらに「クラシックカー・スポーツカー in 科学館 WEB」や「おうちミュージアム WEB」を公開するなどして、WEB上で当館を楽しんでいただけるようメッセージの発信を続けた。

### (4) 広報活動

館の活動等を広く紹介するため、見学のしおり・開館情報・科学館ニュースなどを作成した。例年作成している企画展ポスター・チラシなどは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業が中止されたため、作成しなかった。

作成した刊行物は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更するなどして、県内の各学校・教育機関・県内外の類似施設・マスコミ・関係機関などに送付し、広報活動を行う。

令和2年度 刊行物及びリーフレットの種類

No.	刊行物及びリーフレット	発行部数	サイズ	担当課
1	科学館ニュース No.43	17,000	A4判 (A3見開き)	普及課
2	令和3年度 上半期開館情報	30,000	100×210(A4ペラ)	普及課
3	見学のしおり	60,000	99×205 (397×205 観音折り)	普及課

## 6 連携・協力事業

### (1) 展示・運営協力会

千葉県立現代産業科学館展示・運営協力会は、千葉県立現代産業科学館の展示及びこれに関わる教育普及・調査研究等の活動をより発展させるため、館の活動の趣旨に賛同し、専門的知識を有する団体及び個人が、館の行う科学技術の普及に対し支援及び助言を行うことを目的に活動している。

## ア 常設展示協力

館の常設展示に関する技術的指導や情報提供等を行ったほか、展示物の提供や展示のための調査・研究活動に対する支援、助言を行った。

## イ 企画展・企画展展示協力

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画展が中止となったため、企画展関連の展示や展示協力も中止。

## ウ 展示会

「これでわかった!未来の技術 2020 最先端テクノロジーにふれてみよう!」

(ア)開催期間：令和2年8月8日（土）～8月23日（日）

(イ)会場：企画展示室

例年、この期間に行っている事業であるが、今年度は、施設設備の改修のため中止。

## エ 講演会

科学技術に関する講演をとおして、子どもたちの知的好奇心を刺激し、科学に対する興味・関心を向上させるとともに、企画展との関連性をもった内容を取り上げることで、企画展の広報活動並びに来館者数の増加に寄与することを主目的とし例年実施していたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画展が中止となったため、講演会も中止。

## オ 実験・工作教室

会員が専門とする分野に関する実験や工作を、参加者体験型の方法で実施する。例年は7～8月を中心に実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため10～11月に延期して実施した。感染状況や日程変更により参加を辞退する会員が多かった。

感染拡大防止のため、時間や定員を大幅に減らし、受付方法を電話による事前予約に変更する等の対策を取った。会員には道具の共有禁止や体験後の消毒等の感染対策に加え、参加者と保護者分のフェイスシールドの準備まで協力してもらった。

### 実験・工作教室（参加人数 計31人）

会員名	内容	実施日	曜	時間	対象	定員	参加人数
千葉工業大学	浮いてこい!をつくってみよう～身近な浮沈子づくり～	11月1日	日	30分	小・中学生	24人	17人
公益財団法人 かずさDNA研究所	DNA ってなに?～DNAを見てみよう!～	11月29日	日	45分	小・中学生	12組	11組 14人

## カ サイエンスショー

会員が専門とする分野に関する実験や工作を、ショー形式で実施する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

## キ 特設コーナー展示

展示・運営協力会の特設コーナーの展示は、期間や会場の都合で展示できなかった技術や製品、環境への取組等を年間を通して紹介し、各企業や大学、研究機関等の活動を広く県民に知ってもらう場として実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス

ス感染症拡大防止のため中止。

#### ク 理事会・総会の開催

当館を会場として、8月に第1回理事会及び総会、2月に第2回理事会を予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更し、書面開催とした。第1回理事会は7月15日（水）、総会は8月21日（金）、第2回理事会は3月3日（水）に書面にて実施した。その他、展示・運営協力会新会員の決議のために臨時総会を1月20日（水）に書面にて実施した。各会の結果については、通知文書や「展示・運営協力会だより」等で報告した。

#### （2）「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト

「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトで製作した学習キットについては、年間を通して、随時貸出しを行った。また、サイエンスドームギャラリー展示や教職員の研修会等において広報活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

##### ア ソーラークッカーキット

令和2年度	学校等への貸出実績	2回
	館事業での使用（体験教室など）	0回
	広報活動使用	0回

##### イ エレキテル模型キット

令和2年度	学校等への貸出実績	1回
	館事業での使用（体験教室など）	0回
	広報活動使用	0回

##### ウ 圧電発電キット

令和2年度	学校等への貸出実績	0回
	館事業での使用（体験教室など）	0回
	広報活動使用	0回

##### エ 太陽光発電キット

令和2年度	学校等への貸出実績	0回
	館事業での使用（体験教室など）	0回
	広報活動使用	0回

#### （3）ボランティア

当館では平成17年度から、県民参加による博物館事業の推進及び県民の生涯学習に資するために、博物館ボランティアを設置している。ボランティア登録人数、活動内容、活動件数は下記のとおりである。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、科学館わくわく教室をはじめとする各種イベント等が中止、あるいは規模を大幅に縮小しての開催となったため、フライトシミュレーター指導技量の維持や図書整理等を除く、ほとんどのボランティア活動を実施することができなかった。

登録人数 41名

活動内容

- ア 各種講座・工作教室等の準備及び指導補助
- イ フライトシミュレーター・プラネタリウム上映会など各種イベント時における来館者の案内・誘導
- ウ 図書室での図書整理、蔵書点検
- エ 博物館資料整理作業の補助（今年度は実施せず）

オ 総会 年1回開催（今年度は書面による開催に変更）

カ その他 東邦大学教員養成課程学生の協力（今年度は実施せず）

#### （4）地域連携等事業

##### ア 教育機関・学校等との連携事業

(ア) 県教育庁生涯学習課 千葉県夢チャレンジ体験スクール「サイエンススクール」

県教育庁生涯学習課が実施している千葉県夢チャレンジ体験スクール「サイエンススクール」として下記の事業を計画したが、施設設備の改修のため中止。

(イ) 土器ッと古代宅配便～勾玉をつくろう～

例年、県教育委員会が教育普及活動の一環として実施している「土器ッと古代宅配便」事業に連携して勾玉をつくる工作教室を開催し好評を博してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4回とも開催中止。

(ロ) 総合教育センター 小学校理数教育実践研修

小学校の理科と算数の学習を連携できる題材を生かし、新学習指導要領の主な改善事項の1つである理数教育の充実という方向からの、指導内容と指導方法についての実践的な研修を計画したが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(ハ) さわやかちば県民プラザ連携事業

さわやかちば県民プラザが生涯学習推進の一環として実施している小学生向け子ども科学教室に協力し、これまで工作教室の出張講座として実施してきたが、県民プラザの休所を受けて事業を中止。

なお、県民プラザでは新たな事業の検討を行っているところであり、今後は双方で実施内容等を協議していく予定となっている。

(ニ) 県立市川工業高等学校連携事業

県立市川工業高等学校との連携は、学校外の学修としての高等学校単位認定支援事業の展開とともに深まり、生徒自身が「ものづくりの学び」の成果を発表する場を提供する複数の連携事業を実施するに至った。今年度は、インテリアデザイン部によるクリスマス・正月装飾及び校外展を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を一部変更して実施した。またインテリア科卒業制作展は、緊急事態宣言が発令され、臨時休館となったため中止。

事業一覧（高等学校単位認定支援事業は別掲）

インテリアデザイン部クリスマス・正月装飾（H23年度から実施）

実施日	曜	内容	参加人数
12月19日 ～1月8日	土 金	<クリスマス装飾>タペストリー, リース, モビール, クリスマスツリー <正月装飾>タペストリー	953

インテリアデザイン部校外展（H24年度から実施）及び吹奏楽部演奏会（H30年度から）

実施日	曜	内容	参加人数
12月19日 ～12月27日	土 日	モザイク画, アートパネル, JR本八幡駅展示作品, その他の作品展示	740

※インテリアデザイン部校外展はエントランスホールでパネル展示、吹奏楽部演奏会  
は中止

インテリア科卒展（卒業制作展）（H24年度から実施）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(カ) 木更津工業高等専門学校連携事業「サイエンススクエア・学校説明会」

小・中学生を対象とする「サイエンススクエア（高専ロボコン出場ロボットの展示、ミニロボットの操縦体験、製作体験）」、市川市等の中学校教諭・中学生・保護者を対象とした学校説明会を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(キ) 東邦大学学生ボランティア活動受入れ

平成 26 年度より東邦大学理学部生で教員養成課程を履修中の者を対象に、大学の定める実施要綱に従ってボランティア活動の受入れを行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(ク) 市川市児童生徒科学展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画を変更して審査会のみ実施した。例年、市川市内小・中学校の児童・生徒の研究論文・標本・科学工夫作品を展示し、相互に作品を見学することにより、市内における自然科学教育の振興を図ることを目的として、本館と市川市教育委員会の共催事業として行っているものである。

a日 時：令和 2 年 9 月 11 日（金）

b主 催：千葉県立現代産業科学館

c場 所：企画展示室、研修室

d内 容：市川市内小・中学校児童生徒の科学作品の審査

e参加者数：審査員 38 人 運営 3 名

(ケ) 五市合同技術・家庭科作品展

船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市の各中学校から選ばれた技術・家庭科各分野で入賞した作品の展示を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(コ) 教員のための博物館の日

博物館の利用機会が少ない学校教員に対し、広く博物館に親しむ機会を提供し「博物館活用の方策」を知らせること、及び実験・体験を中心とした授業のあり方を学ぶことを目的として行っていたが、施設設備の改修のため中止。

(サ) 県立柏高等学校天文部連携事業「高校生自作プラネタリウム上映会」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(シ) 県立船橋高等学校連携事業

県立船橋高等学校の SSH に係る音に関する研究発表と、オーケストラ部の日頃の活動の成果を発表する機会をつくるため、県立船橋高等学校との連携事業として実施した。

a日 時：令和 3 年 3 月 27 日（土）13:00 と 14:00 の 2 回実施

b場 所：サイエンス広場

c対 象：どなたでも

d参 加 費：無料

e定 員：各回 100 人

f参加者数：476 人

## イ NPO 法人との連携事業

(ア) くらしとバイオプラザ 21 連携事業

くらしとバイオプラザ 21 と連携し以下の事業を実施した。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとった上で、当館は場所の提供・広報を担当し、NPO 法人が講座等の運営及び指導を行った。

「親子バイオ入門実験教室」

a日 時：令和 2 年 10 月 4 日（日）

①10 時 30 分～12 時 00 分 ②13 時 30 分～15 時 00 分

b場 所：研修室

c内 容：バイオの基礎を学ぶ入門講座として、以下の実験を実施した。  
タマネギから細胞を採取しプレパラートを作成し、各自が組み立てた紙顕微鏡で細胞を観察した。

d参加費：2人1組 600円

e参加者数：①6組 12人 ②6組 12人

## ウ 地域企業等との連携事業

(ア) 鬼高さんしゃ祭（事業中止）

地域の教育及び文化振興に寄与することを目的として、当館とメディアパーク市川、ニッケコルトンプラザの三施設が共催でイベントを24年間にわたり実施してきたが、コルトンプラザ側の意向もあり、三施設協議のうえ令和元年度から当面の期間、イベントを休止することとなり、今年度も実施が見送りとなった。

(イ) 第15回いちかわ産フェスタ「～“令和”新たな未来へ向けて～」

市川商工会議所と協力して、令和2年9月5日（土）に開催をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者が中止。

(ウ) いちかわ土建まつり「わくわく職人体験にみんな集まれ！」（開催中止）

千葉土建一般労働組合市川支部と協力して、建設業にかかる伝統的な技を公開し、実際に体験してもらうことで「もの作り」に関心を持ってもらうイベントを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主催者が開催を中止。

## エ 諸機関との連携事業

(ア) 発明くふう展

全日本学生児童発明くふう展に千葉県から出品され、特許庁長官賞を受賞した作品1点を展示することにより、地域文化振興を目指すとともに来館者の科学に対する興味・関心を高めることを目的とした。年度当初は6月に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画を変更して実施。

a実施日：令和2年10月29日（木）～11月18日（水）

b主 催：県立現代産業科学館

c場 所：エントランスホール

d内 容：全日本学生児童発明くふう展に入賞した作品の展示

e参加費：無料

f参加者数：1,813人

(イ) 少年少女発明クラブ作品展

千葉県内7か所に設置されている少年少女発明クラブによる作品展及び各支部担当による工作教室を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

## オ 学校支援事業

(ア) 高等学校単位認定支援事業

博学連携の一環として、高校生の科学及び博物館活動に対する理解を深めるために実施している。生徒は、校外授業として、当館の講座・事業などに参加し、課題の提出を行う。当館は、生徒の出席状況等を高等学校に報告し、高等学校長が単位を認定する。

平成18年度より県立市川工業高等学校に対して単位認定支援事業を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(イ) 職場体験及びインターンシップ

a 職場体験

中学生の進路適正の吟味と進路情報の活用、望ましい職業観・勤労観の獲得、及び主体的な進路の選択と将来設計などを目標として、希望のあった学校より1校3名を上限として職場体験の受け入れを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

b インターンシップ

高校生に就業体験の機会を提供することにより、職業観・勤労観を育成するとともに、主体的な職業選択能力を高めることに寄与することを目的として、インターンシップの受け入れを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(ウ) 博物館実習

当館では平成8年度より博物館実習生の受け入れを行っている。令和2年度は大学生6人を受け入れ、現代産業科学館の展示活動及び教育普及活動等に関連した内容で実習を行った。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、実習2週間前からの体調観察、全日の体温測定、マスクの着用、他、座席の間隔を空ける、飛散防止用シートを設置する、課題研究については個人単位での取り組みとするなどの対策を取った。

a 実施期間及び日数

令和2年9月2日（水）～9月6日（日）の5日間

b 受け入れ大学名及び人数

日本大学2人 尚美学園大学1人 川村学園女子大学1人 大阪芸術大学1人  
和洋女子大学1人 （合計6人）

c 日 程

実施日	曜	内 容	
		午前	午後
9月2日	水	朝礼・実習生紹介 開講式・職員紹介 日程説明・実習概要説明等 館内見学（見学ツアー・バックヤード）	現代産業科学館の概要 庶務課の業務について 普及課の業務について 日誌整理 終礼参加・退館
9月3日	木	朝礼参加 工作教室について	学芸課の業務について 実験見学 課題説明 日誌整理 終礼参加・退館
9月4日	金	朝礼参加 工作教室について 課題研究（展示資料の解説）	課題研究（展示資料の解説） 日誌整理 終礼参加・退館
9月5日	土	朝礼参加 課題研究（展示資料の解説）	課題研究（展示資料の解説） 日誌整理 終礼参加・退館
9月6日	日	朝礼参加 課題研究（展示資料の解説）	課題発表準備 課題発表・講評 閉講式 日誌整理 終礼 実習生挨拶

(エ) 東邦大学連携事業 博物館での教職実習演習への協力

令和2年度は要望なし。



(オ) 千葉工業大学 博物館利用に関する講義への協力

令和2年度は要望なし。

(カ) 秀明大学 博物館利用に関する講義への協力

令和2年度は要望なし。

(キ) 工業系高校人材育成コンソーシアム千葉

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月の第1回運営委員会はメール開催、同月の第1回総会は書面開催で行われた。次いで令和3年1月の第2回運営委員会及び2月の第2回総会についても同様に行われた。

なお、同年2月の生徒研究発表会は、「コンソーシアム千葉」のホームページ上で関係者に公開する形をとって開催された。

## 7 その他

### (1) エントランス正月飾り「萬祝式大漁旗」

ア 開催期間：令和3年1月5日（火）～1月24日（日）

イ 趣 旨：エントランスホールを活用し、千葉県伝統的工芸品である萬祝式大漁旗を紹介し、エントランス空間に新年の彩と華やぎを醸成した。

ウ 展示内容：萬祝式大漁旗（5点） 現代産業科学館オリジナル大漁旗（2点）

エ 入場者数：213人

※1月8日（金）に緊急事態宣言が発令され、当館も1月9日（土）から臨時休館となったため、展示期間を3月21日（日）まで延長。

### (2) サイエンスドームの利用状況 ※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止

実施日	曜	事業名（内容）	参加者数	関連団体・機関及び委託業者
12月20日	日	明治大学付属明治高等学校マンドリン部OBによるクリスマスコンサート	125	明治大学付属明治高等学校マンドリン部OB
1月20日	水	※五市合同技術・家庭科作品展 表彰式	—	葛南地方技術教育センター、船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市各教育委員会
3月13日	土	※「研究所見学in科学館」	—	公益財団法人かずさDNA研究所
3月14日	日	※令和4年度（3年度実施）千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考説明会	—	県教育庁教育振興部教職員課

### Ⅲ 資料

#### 入館状況 年間別入館者数

年度	個人入館者(人)										団体入館者(人)						年度計 (人)	累計 (人)	開館 日数 (日)	1日平均 入館者数 (人)
	一般成人	高大学生	小中学生	学齢前 児童	65歳以上	障害者	計	一般成人	高大学生	小中学生	学齢前 児童	65歳以上	障害者	計						
															障害者	計				
平成6年度	102,344	5,742	78,466				186,552	18,311	2,739	12,591				33,641	220,193	220,193	241	914		
平成7年度	139,443	4,980	115,084				259,507	19,315	2,470	23,142				44,927	304,434	524,627	304	1001		
平成8年度	154,944	3,354	127,519				285,817	14,055	1,827	23,356				39,238	325,055	849,682	300	1084		
平成9年度	162,274	2,474	124,765				289,513	11,052	1,941	24,062				37,055	326,568	1,176,250	302	1081		
平成10年度	166,272	2,657	127,181				296,110	10,430	1,713	21,580				33,723	329,833	1,506,083	300	1099		
平成11年度	179,685	4,177	130,997				314,859	9,789	1,543	21,759				33,091	347,950	1,854,033	300	1160		
平成12年度	168,109	3,239	136,301				307,649	10,641	1,535	20,193				32,369	340,018	2,194,051	298	1141		
平成13年度	171,633	3,053	139,460				314,146	8,732	1,212	19,049				28,993	343,139	2,537,190	298	1151		
平成14年度	200,158	3,296	104,590	20,718			328,762	7,210	1,360	16,800	2,004			27,374	356,136	2,893,326	298	1195		
平成15年度	197,504	2,779	95,592	21,009			316,884	7,396	1,650	17,301	1,733			28,080	344,964	3,238,290	299	1154		
平成16年度	101,876	1,726	27,146	9,576	1,840	1,086	143,250	3,218	923	10,050	1,558	641	944	17,334	160,584	3,398,874	300	535		
平成17年度	114,674	2,277	29,986	9,910	2,350	1,900	161,097	2,434	349	9,539	1,090	633	626	14,671	175,768	3,574,642	311	565		
平成18年度	109,284	1,447	22,501	7,133	2,247	1,704	144,316	2,033	527	9,150	1,365	529	901	14,505	158,821	3,733,463	312	509		
平成19年度	121,107	1,457	24,793	7,605	2,257	1,836	159,055	1,857	489	6,933	1,003	440	781	11,503	170,558	3,904,021	320	533		
平成20年度	141,865	1,787	27,624	8,566	3,768	2,304	185,914	4,116	608	6,988	1,778	216	737	14,443	200,357	4,104,378	317	632		
平成21年度	126,903	1,338	22,082	6,583	2,839	1,741	161,486	2,005	162	8,369	1,273	461	956	13,226	174,712	4,279,090	312	560		
平成22年度	112,571	1,135	20,169	6,062	2,367	1,807	144,111	1,507	287	6,592	1,299	519	1,099	11,303	155,414	4,434,504	304	511		
平成23年度	123,794	1,375	23,479	7,694	4,492	2,286	163,120	2,379	204	9,191	1,702	467	976	14,919	178,039	4,612,543	315	565		
平成24年度	115,800	755	21,336	7,166	2,501	1,879	149,437	1,882	215	7,378	1,883	513	574	12,445	161,882	4,774,425	310	522		
平成25年度	109,867	868	23,345	8,221	3,275	2,345	147,921	1,923	609	7,460	1,626	780	1,048	13,446	161,367	4,935,792	310	521		
平成26年度	138,751	2,015	24,320	8,913	5,003	2,788	181,790	1,879	607	7,545	2,556	633	798	14,018	195,808	5,131,600	309	634		
平成27年度	103,733	1,200	21,730	9,222	3,415	3,431	142,731	1,509	453	6,112	1,291	293	498	10,156	152,887	5,284,487	307	498		
平成28年度	109,428	1,024	25,359	12,191	4,512	4,548	157,062	1,732	218	7,324	1,968	582	892	12,716	169,778	5,454,265	304	558		
平成29年度	114,857	994	23,796	11,582	4,247	4,259	159,735	1,792	643	6,777	2,474	397	1,345	13,428	173,163	5,627,428	305	568		
平成30年度	104,121	990	23,102	12,701	4,640	4,407	149,961	2,151	578	9,099	2,218	324	1,569	15,939	165,900	5,793,328	305	544		
令和元年度	77,954	665	17,943	10,808	3,717	4,590	115,677	1,897	493	7,625	1,973	382	772	13,142	128,819	5,922,147	281	458		
令和2年度	13,139	158	1,763	1,183	390	424	17,057	0	0	0	0	0	0	0	17,057	5,939,204	175	97		
合 計	3,482,090	56,962	1,560,429	186,843	53,860	43,355	5,383,519	151,245	25,355	325,965	30,794	7,810	14,516	555,685	5,939,204	97,897,916	8,037	19,792		

※平成6年度は6月15日の開館以降

団体内訳

(団体系数)

年度	一般成人	高大学生	小中学生	学龄前児童	65歳以上	障害者	計
平成6年度	571	27	262				860
平成7年度	536	41	441				1018
平成8年度	351	36	408				795
平成9年度	314	38	404				756
平成10年度	247	30	404				681
平成11年度	252	37	409				698
平成12年度	260	32	367				659
平成13年度	249	26	426				701
平成14年度	194	38	393	50			675
平成15年度	183	41	356	41			621
平成16年度	67	34	225	56	23	58	463
平成17年度	34	9	178	29	19	23	292
平成18年度	19	14	185	35	20	50	323
平成19年度	21	8	139	27	16	42	253
平成20年度	30	15	140	45	9	33	272
平成21年度	49	9	145	39	9	56	307
平成22年度	25	14	122	36	10	64	271
平成23年度	40	12	180	46	12	63	353
平成24年度	21	14	142	39	18	39	273
平成25年度	16	10	155	39	31	65	316
平成26年度	18	10	157	57	29	48	319
平成27年度	11	10	113	47	7	32	220
平成28年度	14	10	122	56	21	53	276
平成29年度	28	12	129	60	15	68	312
平成30年度	17	13	147	56	13	130	376
令和元年度	25	11	139	56	12	60	303
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,592	551	6,288	814	264	884	12,393

区分内訳

(人)

区分	個人	団体	計
一般成人	3,579,285	173,571	3,752,856
高・大生	56,962	25,355	82,317
小・中学生以下	1,747,272	356,759	2,104,031
計	5,383,519	555,685	5,939,204
	90.64%	9.36%	

千葉県立現代産業科学館 年報（令和 2 年度版）  
令和 3 年（2021 年）8 月 発行

編集・発行

千葉県立現代産業科学館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1 丁目 1 番 3 号

TEL 047-379-2000

FAX 047-379-2221